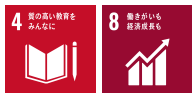


## □ 要請番号 (JL05125A04)

募集終了



| 国名      | 職種コード 職種   | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|---------|------------|------|------|----|------|----------------------------|
| バングラデシュ | G157 日本語教育 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2025/3 ・ 2026/1 ・ 2026/2 |



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ダッカ大学 現代言語研究所 日本語文化学科

## 3) 任地 (ダッカ県南ダッカ市) JICA事務所の所在地 (ダッカ県北ダッカ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

ダッカ大学は1921年に設立されたバングラデシュ最古の大学。学部数は13、学生数は約39,000人。同大学には学部のほか、11の研究所があり、現代言語研究所はそのうちの1つ。同研究所には日本語のほか、英語、フランス語、韓国語、中国語等、様々な言語に関わる学科があり、それぞれ学士、修士、博士課程のほか、Diplomaコースが運営されている。現在、英語、スペイン語、韓国語、中国語学科等には外国人講師(ネイティブスピーカー)が在籍している。また、日本語文化学科には過去に2名の日本語教師隊員が派遣されている。

[現代言語研究所HP](#)

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

日本語文化学科は、言語に関する学習・研究に加え、日本文学や社会、歴史、文化・伝統、政治、経済等、多角的に日本を学ぶ機会を提供している。学士・修士・博士課程およびDiplomaコースには約400名の学生が在籍し、少数ながら日本語能力試験N1やN2の合格者を輩出する等、国内最高峰の日本語教育機関として知られている。他方、同学科には日本人講師が在籍していない。現地人教師陣のみにより授業が行われており、学生は日本語のネイティブスピーカーと接する機会に恵まれていないことから、JICA海外協力隊の派遣要請がなされた。協力隊には、日本語授業や文化紹介等を通じて、学生の日本語能力向上を図るとともに、日本に関する研究・理解を促進することが期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力し、以下の活動を実施。

- 週6コマ程度(1コマ2時間)の日本語授業担当、および同僚の日本語授業補助。
- 日本紹介の授業における日本文学や社会、歴史、政治、経済等に関する学生の理解深化促進。
- 日本語能力試験(主にN3～5)を受験する学生への試験対策指導。
- 学生の学習意欲向上を目的とした交流イベント、課外授業等の企画・立案。
- 日系企業への就職やインターンを希望する学生に対する日本社会での働き方等に関する助言。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

『みんなの日本語(初級、中級、漢字)』、日本語能力試験対策教材、『にほんごチャレンジ』、『まるごと(入門・初級)』、大学オリジナルテキスト、プロジェクター

4) 配属先同僚及び活動対象者

研究所所長 60代 男性 博士  
教授 4名 40～50代 修士・博士  
准教授・講師 5名 修士  
日本語文化学科に所属する学生 約400名

| 5) 活動使用言語 | 6) 生活使用言語 | 7) 選考指定言語 |
|-----------|-----------|-----------|
| ベンガル語     | ベンガル語     | 英語(レベル:D) |

【資格条件等】

[免許]：（日本語教育に関する資格）

[性別]：（            ）      備考：

[学歴]：（修士）人文科学      備考：大学での講義を担当するため

[経験]：（実務経験）2年以上      備考：就職等に関する助言を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候）      気温：（15～40℃位）

[通信]：（インターネット可      電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

ダッカ大学の社会科学部・日本研究学科からも協力隊派遣要請がなされている。